



带状疱疹になる方が増えています！



80歳までに約3人に1人がかかるという「^{たいじょうほうしん}带状疱疹」。みずぼうそうウイルスと同じウイルスで起こる皮膚の病気です。体の左右どちらかの神経に沿って、ピリピリとした痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じます。症状の多くは上半身に現れ、顔面、特に目の周りにも現れることがあります。



保健師：山口

原因

原因は、子どもの時に感染する水ぼうそう。水ぼうそうが治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏し、加齢やストレスなどで免疫機能が低下すると、再び活性化して、带状疱疹となります。

怖い合併症

①带状疱疹後神経痛（PHN）

多くの場合、皮膚症状が治ると痛みも消えますが、神経の損傷によって、その後も痛みが続く、最も頻度の高い合併症です。

②角膜炎などによる視力低下や失明 ③難聴、耳鳴り、めまい



このように带状疱疹は様々な合併症を引き起こすことが知られています。早期に治療することで、改善することもありますので、早めの受診が大切です！

予防

💡規則正しい生活を送り、免疫機能を高めましょう！



💡ワクチンが発症や重症化予防に有効です

令和7年4月から65歳以上を対象に、接種費用を公費で補助する定期接種が始まります。自治体のホームページをご確認ください。